

第56回冬期学会

56th Winter Scientific Meeting

臨床・教育から考える歯科の未来 —持続可能な歯科医療の実現に向けて—

The Future of Dentistry from Clinical and Educational Perspectives:
Toward the Realization of Sustainable Dental Care

企画要旨

本学会は、社会情勢が激変する中で「持続可能な歯科医療」をいかに実現するかをテーマに、臨床と教育の両面から未来を展望します。明日の診療に直結する実践的な臨床テクニック、令和8年度診療報酬改定を見据えた保険診療の社会的意義、そして国際化が進む歯科医学教育の在り方。これら三つの視点から現状を整理し、歯科界が歩むべき道を模索します。

現場の知見と社会制度、グローバルな視点を融合させ、次世代へ繋がる歯科医療の発展に寄与することを目指します。

主な内容

■ 日常臨床・明日から使える臨床テクニックとこれからの歯科医療に望まれること
松本 勝利

■ 日本の社会構造における歯科保険診療の存在意義
～令和8年度診療報酬改定の在り方と目指す方向～
小野清一郎

■ 歯科医学教育の国際化
鶴田 潤